

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|------------|-----|--------------|
| ○事業所名 | CoCo | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年 3月 9日 | | ～ R8年 3月 21日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 18名 | (回答者数) 16名 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 3月 9日 | | ～ R8年 3月 21日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 10名 | (回答者数) 10名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 4月 21日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|--|---|
| 1 | ・感覚統合 | ・日頃の何気ないやり取りや活動の様子をみる中で、児童の「好きな感覚」「必要としている感覚」は見つけ、発達段階に応じた感覚体験が出来るよう、様々な教材を使用し楽しみながら取り組めるようにしています。また「苦手な感覚」を少し軽減するなど、感覚面に配慮した支援や環境作りを行っています。 | ・引き続き、研修の受講や教材研究により、質の高い療育を取り組んで参ります。 |
| 2 | ・児童の「やってみたい」を実現 | ・図書館で本を借り様々な情報を得られるようにし、その中で見つけた「やってみたい」を伝える事が出来た時には必ず実現するようにしている。 | ・「やってみたい」を実現するためには何が必要なのか等の準備も一緒に行なう事で、情報を収集する方法・準備・確認などが出来るよう取り組みます。 |
| 3 | ・活動プログラム | ・慣れている活動では、安心感を持って取り組むと共に、気持ちに余裕が持てることで他児童と手伝い合うことが出来るようにしている。また、毎月新しい活動を取り入れるよう意識しており、新しいことへの挑戦する力を養うと共に、活動を楽しみめるようにしている。 | ・新しい活動を模索し、児童が楽しんで取り組むこと、「出来た」という達成感を感じることが出来るようにしていきます。 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|--|---------------------------------|
| 1 | 放課後等クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 | ・地域でのイベントへの参加が少ない。 | ・地域の情報を集め、児童が参加できるものには積極的に参加する。 |
| 2 | 家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会 | ・保護者会を通して、事業所や保護者間での情報提供・交換、支援のフィードバック時にご家庭での対応方法の案などを伝えさせて頂いていましたが、研修会としては開催出来ていない。 | ・保護者様からの意見も取り入れながら、研修の開催を行っていく。 |
| 3 | | | |